

## 会 議 結 果 （ 報 告 ）

|         |  |
|---------|--|
| 件 名     | 令和3年度 第3回 中野市社会教育委員会議（定例会）   |
| 年月日     | 令和4年3月25日（金）午前9時30分～午前11時50分   |
| 場 所     | 市役所5階会議室53   |
| 出席者     | 社会教育委員8名<br>文化スポーツ振興課 山浦スポーツ振興係長、子育て課 小高青少年未来係長<br>事務局:戸田生涯学習課長、佐々木課長補佐兼生涯学習推進係長兼文化財係長、<br>田中  |
| 会 議 概 要 | <p>1 社会教育関係団体への補助金について説明し、ご意見をいただいた。</p> <p>○資料1の3ページに「コロナ禍のため、行事を計画どおり行えないことがあり、試行錯誤しながらよりよい方法を模索している」とあるが、どう行ったか。</p> <p>子育て課 公民館（室内）で行う事業を屋外で行ったり、全員が集まらずに、地区ごとや、2学年ごとに集まり密を避け交流している。手指消毒、飲食中止など。</p> <p>○体育協会は、大人数の大会が多く、コロナウイルス感染防止に関する経費が非常に多くかかってしまうため、補助の項目を見直せないか検討してほしい。</p> <p>大会の開催についても迷う部分があり、開催していいかの判断が難しく、開催するにしても参加者が参加を迷う現状がある。</p> <p>○青年会議所の屋外イベントで1200人規模のイベントを開催した。5月にも習い事のイベントを行うため、そのようなイベントの開催があったという情報の共有も大事かと思う。</p> <p>2 令和3年度の活動報告を行った。</p> <p>内容についてお認めいただいた。質問、御意見等はなかった。</p> <p><b>【その他意見等】</b></p> <p>○社会教育委員が、ひきこもりをテーマとして研究調査をしているが、市内小中</p> |

学校のひきこもり（不登校）の人数はわかるか。また、新しくできる高社放課後児童クラブについて、上手な活用方法、また開所時間を長くすることはできるか。

生涯学習課 小中学校のひきこもり（不登校）の現状は、生涯学習課では人数を正確に把握していない。放課後児童クラブについては、担当課へ話を繋げます。

○ひきこもりの支援について、当事者と行政の間に入る人（つなぐ場所）が必要でないか。なかなかプライバシーの問題もある。当事者が満足できる支援が望ましいと思う。

○話を聞いてくれる人を紹介する。相談窓口が行政にあることを知っているが、相談へ、なかなか行けない。自分で行けない。行政に相談できないことを、話を聞いてくれる人に頼ることも必要でないか。

○ひきこもりの当事者や家族は、市役所へ相談に行きにくい。ひきこもりになってから、早く相談につなげられるよう、その間に入る人、間に入って話を聞いてくれる人は重要。

○ひきこもりとなり不登校となった子に話を聞くと、学校でのトラブルで不登校となったが、本人は学校へ行きたいという気持ちもある。当事者と関わるきっかけ、話すきっかけ作り、話せる環境作りが一番大事だと思う。話を聞くだけでも、何かが変わるかもしれないのではないか。